

大阪市を廃止する

「都構想」ストップ

市民共同の力で大阪の自治を守ろう

——元市議の訴えから

大阪市をなくして4つの特別区(半人前の自治体)に分割するのか、それとも、市民自治が豊かに花開く大阪市をとりもどすのか——。大阪のダブル政治戦のなかで、元市議の訴えに共感が広がっています。



「都構想」の議論に 終止符を

維新の「都構想」は、大阪市をなくすこと。しかも、市を4分割するためのコストは1,500億円。こんなお金をかけるくらいなら、教育や子どものために使うべきです。

今回は「都構想」議論に終止符を打って、市民の自治を守りぬくビッグチャンスです。



子どもたちの 笑顔あふれる大阪市に

虐待、いじめ、不登校……。いま大阪の子どもたちはさまざまな困難に直面し、教育現場は疲弊しています。諸悪の根源は、“上から目線”で教育現場を変えた校長公募制度に。教育を歪めたこの制度を廃止し、現場重視の教育行政をつらぬきます。

大阪のモノづくりの 魅力を世界に発信



2025年大阪・関西万博は、大阪の魅力を世界に発信する絶好の機会。とりわけ、中小企業とモノづくりの街という大阪のブランドを世界に発信し、「経済新首都・大阪」を実現します。

270万人の代表として市民の声に しっかり耳をかたむけます

異論や批判に耳をかたむけず、逆に排除するような考え方は、「権力者」の発想といわなければなりません。私は、「都構想」を支持している人たちの意見もしっかり聴きます。それが270万人の人口をかかえる政治家の役割だからです。



270万人の代表として、市民とともに喜怒哀楽を分かち合えるようなリーダーをめざします。私を日本一忙しい政治家にしてください。

元市議の約束から

子ども・教育

現場本位の教育委員会に。老朽化した学校の建て替え。

福祉・女性

子どもの貧困、虐待問題に真正面から向き合う。

経済・街づくり

大阪の最大の強みである中小企業の活用。都市間連携の強化。

防災

南海トラフ巨大地震に備えた都市インフラの強化。密集市街地対策と水害対策の推進。

新たな市政運営

行きすぎた「維新改革」をリセット。市民が本当に必要とする住民サービスを提供。

